

第6学年 社会科学学習指導案

授業者

1. 日時 令和元年 9月30日 (月) 第5校時 (13:50~14:35)

2. 学年・組・場所 第6学年2組(37名)教室

3. 大単元名 「日本のあゆみ」
小単元 「武士による政治のはじまり」

4. 小単元の目標

- 理解に関する目標……………ペリー率いる米国艦隊の来航や新政府が進めた新しい国づくりについて調べ、黒船の来航により我が国が開国し、江戸幕府が倒れるきっかけとなったことや欧米の文化を取り入れつつ近代化が進んだこと、欧米諸国と対等な関係を構築したことを理解できるようにする。
- 態度に関する目標……………幕末から明治維新につながる世の中の動きや新政府が進めた新しい国づくりに関心をもち、政治や社会の仕組みの変化などを意欲的に調べることができるようにする。
- 能力に関する目標……………幕末から明治維新につながる世の中の学習や新政府が進めた新しい国づくりの学習を通して、歴史的事象を具体的に調べ、それらの時代の人々のはたらきを考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

5. 小単元の評価基準

- 社会事象への関心・意欲・態度
時代の変化のきっかけとなった黒船の来航や開国などについて関心をもち、意欲的に調べ、考えようとしている。
- 社会的な思考・判断・表現
黒船の来航、幕府の開国や新政府が進めた新しい国づくりなどについて問題意識をもって追究し、時代の変化について考え、調べたことや考えたことを適切に表現している。

○観察・資料活用の技能

黒船の来航により開国せざるをえなかったこと、幕府や藩の政治の失敗により、天皇中心の国をつくろうとする運動が武士の世を終わらせたこと、明治政府が廃藩置県や四民平等などの諸改革をおこない、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことについて理解している。

○社会事象についての知識・理解

黒船の来航により開国せざるをえなかったこと、幕府や藩の政治の失敗により、天皇中心の国をつくろうとする運動が武士の世を終わらせたこと、明治政府が廃藩置県や四民平等などの諸改革をおこない、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことについて理解している。

6. 単元について

(1) 児童観

本学級の児童はこれまでに、縄文時代から江戸時代初期に至るまでの日本の歴史と、江戸の文化・学問について学んでおり、歴史に対して親しみをもっている。休み時間には歴史に関しての本や漫画を読む児童も見られ、歴史に対しての興味は比較的大きいと考えられる。また、普段から調べ学習によく取り組んでおり、社会の歴史に関する授業においても、図や絵を用いて自分なりに調べたことをノートにまとめ、表現する機会が多い。そのような興味と、ノートに自分なりに表現してまとめることのできる力を持っていることから、児童の考えを大切にするように心がけつつ、調べ学習を中心とした、確かな歴史の知識を身に着けられる授業を旨したい。

(2) 教材観・指導観

本小単元では、黒船来航、そのことによる開国、倒幕、明治維新、文明開化と、激動する日本の政治・社会の変化について取り上げている。黒船来航によって開国し、鎖国体制が完全に崩壊して貿易が行われるようになったことで、日本内でものの値段が激しく上がり、それまでにも起こっていた百姓一揆や打ちこわしが飢饉の際でなくても頻発し、人々の幕府への不満が高まる中、下級武士達が立ち上がって江戸幕府の倒幕を実行し、これが明治維新、文明開化へと繋がっていく。本小単元は、歴史の流れが激しく揺れ動く為、出来事の起こったきっかけや、その出来事が起きたことによって時代の方向性はどうなるかななどの「なぜ？」を大切にして指導していきたいと考えている。そのことに加えて、「自分がその当時の人々だったらどう思う？どうする？」と児童の感情を揺さぶり、興味・関心をもって参加できるような授業作りを意識したいと思っており、これは、児童が意欲的に調べ学習を行うことのできるための手立てであるといえるだろう。

また、本小単元で時代の様子を理解する際に、絵画資料やグラフの活用が必要不可欠であり、これらの資料を効果的に使用して指導をしていきたいと考えている。

7. 単元の指導計画(全7時間)

時数	ねらい	○学習活動	◆評価
1	黒船の絵図を手がかりに、外国との関係や国内の動きについて関心を持ち、黒船来航後の日本がどうなっていくのかを予想することができる。	<p>黒船の来航について調べ、世の中はどのように変化したか予想しよう。</p> <p>1回目の黒船来航時の絵画資料を使用する等して黒船来航について調べ、黒船が来てから日本はどうなったのか予想することができる。</p>	<p>◆黒船来航の絵から読み取れることを意欲的に考えている。(関・意・態)</p> <p>◆文章から読み取れることをノートにまとめ、自分なりに表現し、発言できている。(思・判・表)</p>
2	世の中が大きく変わるきっかけになった黒船来航に関心を持ち、鎖国を終わらざるをえなかったことについて調べることができる。	<p>黒船に対して、江戸幕府はどのような対応をしたのだろう</p> <p>ペリーの手紙を調べ、アメリカ合衆国の要求とその要求を受け入れる江戸幕府の対応について理解し、黒船来航により、鎖国が終わったことを理解できる。</p>	<p>◆文章から読み取れることをノートにまとめ、自分なりに表現し、発言できている。(思・判・思)</p>
3	幕府や藩の政治の失敗や、物価の上昇に対する民衆の不満を背景にして、天皇中心の国家をつくる運動が武士の世の中を終わらせたことを考えることができる。	<p>開国の後、人々の暮らしや幕府の政治は、どうなったのだろう。</p> <p>開国により、人々の暮らしが厳しくなったことが原因で、幕府に反感をもつ下級武士が倒幕運動を起こしたという一連の流れを理解することができる。</p>	<p>◆グラフの内容を正確に読み取ることができる(技)</p> <p>◆倒幕後日本はどうかを意欲的に考え、予想することができる(意・関・態)。</p>

4 本時	新政府がおこなった政策について調べることにより、新政府がどのような世の中をつくっていかうとしたのかを考えることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>新しい政府は、どのような方針で国づくりをおこなっていったのだろう。</p> </div> <p>新政府と江戸幕府との差を考え、新政府の取り組みについて調べ、理解する。</p>	◆資料を基に、江戸幕府との違いに目を向け、新政府の取り組みに関して興味をもち、意欲的に調べ学習に取り組んでいる(関・意・態)。
5	富国強兵について調べることにより、さまざまな政策や欧米からの学びにより近代化が進んだことを理解することができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>政府は、どのような政策をおし進めたのだろう。</p> </div> <p>政府が近代化を目指しておし進めた富国強兵について調べ、理解する。</p>	◆富国強兵等の政策が行われ、欧米からの学びにより、近代化が進んだことを理解している(知・理)。
6	江戸時代と明治時代のまちの様子を比較し、人々のくらしの変化について興味をもって調べることにより、欧米の文化や制度を取り入れ、近代化が進んだことを理解することができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>明治維新によって、人々のくらしはどのように変わったのだろう。</p> </div> <p>明治維新後のまちの様子を資料を提示し、江戸時代との違いを調べて理解する。</p>	◆江戸の町の様子と明治の町の様子の違いを、資料から読み取ることができる(技)。 ◆明治の文化にはどのようなものがあるのかについて興味をもち、意欲的に調べ学習に取り組んでいる(関・意・態)
7	黒船来航～文明開化の内容を振り返る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>学習をふりかえり、明治の新しい国づくりと人物のはたらきについて考えよう。</p> </div> <p>黒船来航から文明開化の内容について、分かったことや疑問に感じたことをノートに表現することができる。</p>	◆黒船来航～文明開化について理解ができている(知・理)。 ◆学習したことを自分なりに整理し、表現できている(表)。

8. 本時の展開

(1) 目標

新政府がおこなった対策について調べることにより、新しい政府がどのような世の中をつくっていかようとしたのかを考えることができる。

(2) 評価基準

新政府がどのような世の中をつくっていかようとしたのかを考えることができる。

時	○学習活動	◎予想される児童の発言・行動	◇支援◆留意点
5	1. 前時の復習を行う。 ・本時の内容の理解をより深めるため、前時までの流れを確認する。	◎鎖国が終わった。 ◎木戸孝允、西郷隆盛、大久保利通が天皇中心の国家をつくろうとした。 ◎江戸幕府が終わった。	◇前時までの内容を思い出しやすいように、前時までの歴史の流れを書いたフリップを用意する(五箇条の御誓文と比較しやすい書き方のもの)。
5	2. 五箇条の御誓文の資料を読み、内容を理解する。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> ◎江戸時代と新政府のちがいをみつけ、新政府の国づくりについて調べよう。 </div>			
5	3. フリップと資料を見て、江戸時代と新政府の違いを考え、隣の人と意見交換をし、発表する。	◎江戸時代は上の立場の人だけでいろいろなことを決めていたけれど、新しい政府は身分に関係なく意見ができる世の中を目指しているんじゃないかな。 ◎江戸時代は鎖国していたけれど、新しい政府は開国しているみたいだね。	◇江戸幕府と比較しやすいように、五か条の御誓文の内容を明確にする。

10	4. 新しい政府による国づくりについて(教科書 P106 ~P107)調べて自分なりに分かりやすくノートにまとめる。		
10	5. ノートにまとめたことを発表する。	<p>◎新しい政治方針を五か条の御誓文というよ。</p> <p>◎新政府の中心となったのは木戸孝允と大久保利通だよ。</p> <p>◎年号は明治だよ。</p> <p>◎身分の差をなくしたかった。</p> <p>◎天皇が中心の国にしたかった。</p>	
5	6. 「新政府」「版籍奉還」「廃藩置県」「新しいしくみ」の四語を用いて、自分なりにまとめ、発表する。	<p>◎新政府は、版籍奉還や廃藩置県など、明治維新とよばれる新しいしくみをつくった。</p> <p>◎版籍奉還や廃藩置県など、明治維新という新しいしくみを新政府はつくった。</p>	◇「新政府は、」と書きだしを決めておき、児童が考えやすいようにしておく。
2	7. 全体のまとめを書く。		
3	8. ふりかえりを書く。		

9. 板書計画

